

住人十色

第78回

中四国選抜チームで全国大会に出場 優勝逃すも、好リリーフでチームに貢献

久保 貴史さん(内子中3年)内子3



◎中四国代表チームのユニフォームで取材に応じてくれた久保さん。日に焼けた笑顔が印象的でした。

「第16回ボーイズリーグ鶴岡一人記念大会」が8月22・23の両日、茨城県で開かれ、久保貴史^{たかふみ}さんが中四国選抜チームの一員として出場しました。

久保さんは松山市の硬式野球チーム・松山ボーイズのエース。小学3年生から入団し、中学生になってからは週4回、放課後に松山市まで通って練習を続け、中四国を代表する選手に成長しました。

同大会では予選リーグの2試合にリリーフ投手で出場。1失点の好投で、チームの決勝トーナメント出場に貢献しました。久保さんは「全国レベルのバッターは、甘いコースは簡単に長打にできる。コントロールを磨いて失投をなくさない」と全国で通用する投手になれない」と感想を語り、「中四国の代表選手たちと同じチームで戦えたのはいい経験。チームによって野球に対する考え方が違い、勉強になった」と大会を振り返ります。

今の目標は愛媛県の高校で野球を続け、甲子園のマウンドに立つこと――。「いい環境で野球をさせてくれた家族やチームに感謝している。培ってきたものを大切にしながら、これからもコツコツと努力を重ねて夢を叶えたい」と爽やかな笑顔で話しました。

編集幸記

▽異文化を知るって楽しいですね。今回の特集の取材では耳を疑うことが多く、インターネットでいろいろ調べました。世界には面白いことがあふれています。協力隊の山内さんを見習って、旅に出たいです……(裕)

▽撮影をしていると、たくさんのすてきな笑顔に出会えます。来年の1月号は公募した皆さんの笑顔の写真で表紙を埋め尽くす、初めての試みです。どれくらいの写真が集まるのか今からわくわくします。ぜひご応募ください(健)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

